

日合商は昭和 52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるものです。また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

Japan Plywood Wholesalers Association e-mail: jpwa@oobe.ocn.ne.jp
発行所: 日本合板商業組合 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-5-4 TEL 03 (5256) 9080

日合商HP
https://www.nichigoshou.net/



2023 年 10 月 24 日 (火) 14:00 ~ 14:45

日合商 2023 年度 第二回理事会を開催しました

出席理事数 50 名 (会場出席 38 名、書面出席 12 名) 出席監事数 6 名 (会場出席 4 名、書面出席 2 名)

足立建一郎理事長、小川明範副理事長、石本勝範副理事長ら本部役員と、北海道・東北・北関東・東関東・東京・神奈川・中部日本・関西・中国・四国・九州・沖縄の各支部から理事・監事ら 44 名が出席し、千代田区の LEVEL XXI (Twenty-One) 東京会館において開催しました。

●議事事項

- 第一号議案 2023 年度上期事業報告及び決算見込みの件
- 第二号議案 役員補充選挙並びに総代の一部改選の件
- 第三号議案 第 45 回通常総会 (総代会) の件
- 第四号議案 会勢強化の件

●報告事項

- ① 2023 年度要望 (陳情) について
- ② 検討委員会 (日合商本部の収支改善対策について) 報告
- ③ 法遵守状況の自主点検要請について

足立建一郎理事長の開会挨拶冒頭、理事会に先立って日合商本部の収支改善対策について検討委員会で話し合ったことを報告。将来を見据えた日合商の健全運営に向け、会勢強化への取組みとともに、組合員・会員に資する組合活動に努めていくと述べました。

ひきつづき足立建一郎理事長が議長となって第一号議案から第四号議案まで審議が行われ、全会一致で可決承認されました。

なお、第二号議案審議で役員の補欠選出による新役員に承認された理事: 石橋智洋氏 (北陸支部) と監事: 渡邊裕幸氏

(東京支部) を紹介。また第三号議案審議では、第 45 回通常総会の主管となる関西支部の丸敏幸支部長と中村憲夫理事から、より具体的な開催内容の説明があり、インバウンド需要回復の影響で宿泊料金が高騰している現状も報告されました。

つづいて、報告事項① 2023 年度要望 (陳情) について、② 検討委員会 (日合商本部の収支改善対策について) 報告、③ 法遵守状況の自主点検要請について事務局が報告。

議長から事務局に、その他議案について提案がないことを確認して審議を終了し、閉会しました。



足立建一郎理事長、小川明範副理事長、石本勝範副理事長が出席し、足立建一郎理事長が開会挨拶



役員の補欠選出による新役員
理事: 石橋智洋氏 (北陸支部) 監事: 渡邊裕幸氏 (東京支部)



第 45 回通常総会開催の準備状況を説明する
関西支部 丸敏幸支部長、中村憲夫理事、関西支部理事の面々

2023 年 10 月 24 日 (火) 15:00 ~ 16:45

2023 年度 第一回合板需給懇談会を開催しました

●議 題

- ① 林野の行政活動について
- ② 国内合板の供給動向について
- ④ 国内各地の需要動向について
- ⑤ その他 (質疑応答)

日合商 2023 年度 第二回理事会終了後、同会場において、生販の情報交換の場として、林野庁林政部木材産業課 課長 石田良行氏と流通班木材専門官 長谷川太一氏ご臨席のもと、2023 年度 第一回合板需給懇談会を開催しました。日本合板工業組合連合会から井上篤博会長、野田四郎副会長、大和田康司副会長代理、似内向理事代理、中西宏一理事、岸 博一理事、上田浩史専務理事ら 7 名に出席いただき、日合商からは足立建一郎理事長、小川明範副理事長、石本勝範副理事長、全国各支部から理事・監事ら 44 名が出席しました。

需給懇談会に先立ち、日合商足立建一郎理事長が主催者代表として挨拶。コスト高および資材高騰を主な要因として新設住宅着工数が 21 か月連続の減少傾向にある中で、日合連の皆様には足並みを揃えて需給バランスをとっていただくことを要望し、生販それぞれの立場から忌憚のない意見を交換して明るい将来に繋げていきたいと需給懇談会開催の主旨を述べました。

つづく日本合板工業組合連合会 井上篤博会長挨拶では、全国津々浦々で日合連の合板拡販への謝辞を頂きました。また、国産合板メーカーでは適正な合板価格で流通することによって日本の国土の約 7 割を占める森林を維持・再生し、国産材を持続循環可能にすることを目指していること。同時に、国内での国産合板の活用だけでなく、近隣諸国への輸出も念頭に日合商メンバーと一緒に取り組むこと。更に合板の新規活用分野の開拓や、すでに商標登録を取得した CLP (Cross Layered Plywood: 超厚合板) の技術開発・製品開発の加速化、JAS 規格化推進に

努めている現状について、お話がありました。

林野庁からは木材産業課長 石田良行氏による林野庁の行政活動について、資料『合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律 (クリーンウッド法) の改正について』に基づく 2 年後に施行される改正点「川上・水際の木材関連事業者による合法性の確認等の義務付け」「素材生産販売事業者による情報提供の義務付け」「小売事業者の木材関連事業者への追加」等について、また資料『建築基準法等の改正について』に基づいて「建築物省エネ法・建築基準法の改正」が住宅や建築物の木材活用に大きく影響すること、断熱性の強化や太陽光発電設備の設置等に伴う建築物の重量化に対応して「構造の安全性確保を図る必要」があるといった情報を提供いただきました。

日本合板工業組合連合会からご出席の石巻合板(株)、(株)日新、丸玉木材(株)、(株)キーテック、新潟合板振興(株)からは、国内の合板供給動向について、素材となる原木は潤沢ではあるが、減産・



足立建一郎理事長が
主催者挨拶



日本合板工業組合連合会
井上篤博会長挨拶



林野庁
林政部 木材産業課課長 石田良行氏 (写真右)
と流通班木材専門官 長谷川太一氏 (写真左)



日合商各支部報告を
締めくくる
小川明範副理事長

生産調整継続の報告がありました。

一方、日合商から出席の各支部代表者からは、国内各地の需要動向について、一様に住宅価格上昇により住宅着工数は減少傾向にあり、また土地価格上昇、平屋の増加、高額住宅物件の増加等々を報告。総括として小川明範副理事長より「日本の住宅の資産価値を維持するための法整備の手立てを検討いただけないか」との意見を述べ、情報・意見交換を終えました。

合板需給懇談会終了後、同じ会場にて立席形式による懇親会を開催。日合商 石本勝範副理事長の乾杯の発声でスタートし、関西支部 國松隆夫副支部長による中締めをはさんで交流を深め、閉会となりました。

Panasonic

お施主様の間取り図を使ってパナソニック建材商品の見積りを簡単作成

間取り図積算



詳しく
動画で紹介

住宅
CAD
と連携

国内主要CADシステムに対応

国内主要3社の住宅系CADデータの取り込みが可能。



福井コンピューターアーキテクト(株)
アーキトレンドゼロ



(株)コンピューターシステム研究所
ALTA Revolution



(株)DTS
Walk in home

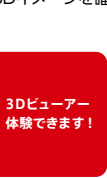
カンタン連携 & 見積り

住宅CAD内の「専用ボタン」からデータをダウンロードし、「WEBハウス」に取り込むだけ。



3Dビューアー機能搭載

お施主様のスマートフォン、タブレット、パソコンで3Dイメージを確認。



【対象】・2023年10月4日新規見積りより(既存見積りも更新があれば対象になります。)
・部屋設定+建具が窓枠を配置した場合のみ、二次元コードが表示されます。
・対象機種: iPhone (iOS15以上)、iPad (iPadOS15以上)

※左記図面は福井コンピューター社のアーキトレンドゼロの場合
※各社CADソフトで読み取れない仕様(色柄、ドアデザイン、ハンドル種類など)に関しては、当社ペリテシスカatalogに掲載されている「ペリテシ WEBハウス見積依頼書」の下線の内容(標準仕様)で読み込まれます。
※建具寸法は、図面寸法では拾われず、当社の標準仕様にて積算されます。
※システム階段・手すりは自動積算されません。また窓枠は長さ3950mmの長尺サイズで積算されます。

Green
Housing
Panasonic

法令順守状況の自主点検
アンケートに関しご協力
ありがとうございました。

林野庁から依頼のあった「法遵守状況の自主点検」に関して、多数の会員さまからご回答を頂き誠にありがとうございました。今回会員の皆さまから頂いた調査結果は、本部で取り纏めて 11 月 10 日に林野庁へ提出いたしました。ご協力を大変ありがとうございました。

東京の合板卸売り価格 (円)											
※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より (注) 1 車単位 (10 トン) 問屋売り価格・90 日手形 (JAS 製品)											
品 目		10 月 18 日	前週比	10 月 25 日	前週比	10 月 31 日	前週比	11 月 8 日	前週比	11 月 15 日	前週比
ラワン JAS F☆☆☆☆	2.3mm T2	950	0	950	0	950	0	950	0	950	0
	4.0mm //	1,260	0	1,260	0	1,260	0	1,260	0	1,260	0
	5.5mm //	1,550	0	1,550	0	1,550	0	1,550	0	1,550	0
	9.0mm //	2,080	0	2,080	0	2,080	0	2,080	0	2,080	0
	12.0mm //	2,630	0	2,630	0	2,630	0	2,630	0	2,630	0
針葉樹 構造用	F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,930	-20	1,930	0	1,900	-30	1,900	0	1,870	-30
	F☆☆☆☆ 24mm 実付	4,260	0	4,260	0	4,200	-60	4,200	0	4,140	-60
	F☆☆☆☆ 28mm 実付	5,000	0	5,000	0	4,950	-50	4,950	0	4,890	-60
	F☆☆☆☆ 9mm 3×10	3,100	0	3,100	0	3,050	-50	3,050	0	3,020	-30
輸入・型枠用	12mm JAS 製品	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100	0
輸入・構造用	F☆☆☆☆12mm JAS 製品	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100	0

住団連 経営者の住宅景況感調査（令和 5 年度第 3 回）報告より

■令和 5 年 10 月度 経営者の住宅景況感調査集計結果

- 令和 5 年度第 2 四半期の受注実績は、受注戸数で▲ 36 ポイント、受注金額で＋ 5 ポイントとなり、戸数は 9 期連続マイナスとなりましたが、金額は令和 3 年 10—12 月期以来のプラスとなりました。
- 令和 5 年度第 3 四半期の受注見通しは、受注戸数＋ 9 ポイント、受注金額＋ 27 ポイントとなり、受注戸数・受注金額ともに 2 期連続でプラスの見通しとなりました。

※数値は回答企業数。白抜きは回答企業数が最多の項目。

調査時期
令和 5 年 10 月中旬

調査対象
住団連会員企業及び住団連会
員団体の会員企業の経営者

回答数
15 社

回答社
旭化成ホームズ、
一条工務店、大野建設、
サンヨーホームズ、
スウェーデンハウス、
住友林業、積水化学工業、
積水ハウス、大東建託、
大和ハウス工業、
トヨタホーム、
日本ハウスホールディングス、
パナソニックホームズ、
ミサワホーム、
三井ホーム
(敬称略、五十音順)

集計結果
景況感（前年度同期比）の単
純集計を基に景況感判断指数
を算出

		令和5年7～9月(対前年同期比)					令和5年10～12月(対前年同期比)				
		実 績					見 通 し				
		10%程 度以上 悪い	5 % 程 度悪い	±0% 変 わ ら ず	5 % 程 度良い	10%程 度以上 良い	10%程 度以上 悪い	5 % 程 度悪い	±0% 変 わ ら ず	5 % 程 度良い	10%程 度以上 良い
戸建 注文 住宅	受注戸数	7	3	3	1	0	0	8	3	3	0
	受注金額	3	5	2	3	0	0	4	5	4	0
戸建 分譲 住宅	受注戸数	2	0	3	1	4	0	0	3	5	1
	受注金額	1	0	4	0	4	0	0	4	4	1
低層 賃貸 住宅	受注戸数	3	0	1	2	6	0	1	4	3	4
	受注金額	2	0	1	2	7	0	0	4	3	5
リフォ ーム	受注金額	1	1	7	2	2	1	0	3	8	1
全体	受注戸数	4	4	1	0	2	0	4	2	4	1
	受注金額	2	2	3	1	3	0	2	3	4	2

■令和 5 年度の
新設住宅着工総戸数の予測アンケート結果

※平均値は各セグメントの最大値、最小値各 1 つずつを外して算出。

回答数 15 社

【単位：万戸】

	総戸数	持 家	分譲住宅	賃貸住宅	給与住宅
令和 3 年度実績	86.5	28.1	24.8	33.0	0.5
令和 4 年度実績	86.0	24.8	25.9	34.7	0.5
令和 5 年度予測	84.4	24.1	24.9	34.5	0.5
令和 5 年度予測					
A 社	82.5	23	24	35	0.5
B 社	85	25	25	34	0.5
C 社	85	24	25.5	35	0.5
D 社	84.4	24	24.8	35	0.6
E 社	83.3	23.5	24.1	35.2	0.5
F 社	85	24	25.5	35	0.5
G 社	85.6	25.2	24.9	35.4	0.4
H 社	83.5	23	24.5	35.5	0.5
L 社	83	25	24	33.5	0.5
M 社	80	22.5	23	34	0.5
N 社	83	23.5	25	34	0.5
O 社	86	24.2	24.8	33.5	0.5
Q 社	86.5	24.1	26.8	34	0.5
R 社	86.5	25	26	35	0.5
S 社	84	24.5	25	34	0.5
平均	84.4	24.1	24.9	34.5	0.5



65th.
Anniversary

樹をテクノロジーする会社です

KEY+TEC™

<https://www.key-tec.co.jp>

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

ダイロートン健康快適天井材

クリアートーン9プラス

動画で性能を確認！

音を聞きとりやすくする天井材に消臭性能をプラス

吸音

音の反射を抑えて、生活音を心地よく整えます。

消臭

キッチン周りやペットのニオイを吸着し、消臭します。

大建工業株式会社

本社 / 〒530-8210 大阪府北区中之島3丁目2番4号 (中之島フェスティバルタワー・ウエスト14F)

概 要

2023 年 8 月の新設住宅着工戸数は 70,399 戸（前年同月比 9.4%減）で 3 カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は 41,188 戸（前年同月比 4.1%減）で 17 カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は 81.2 万戸で前月比 4.5%増、3 カ月ぶりの増加となる。

利用関係別では、持家が 20,994 戸（前年同月比 5.9%減）で 21 カ月連続の減少、貸家は 29,364 戸（同比 6.2%減）で先月の増加から再びの減少、分譲住宅は 19,587 戸（同比 15.5%減）で 3 カ月連続の減少となった。分譲の内訳はマンションが 7,894 戸（同比 26.4%減）で 2 カ月連続の減少、戸建ては 11,589 戸（同比 6.1%減）と 10 カ月連続の減少となった。持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比 9.4%の減少となった。

国内・外合板の供給量

8 月の国内合板生産量 21.3 万 m³（前月比 98.1%、前年同月比 88.8%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は 21.0 万 m³（同比 98.5%、89.2%）となり、出荷量は 21.0 万 m³（同比 95.6%、93.7%）で在庫量は 16.4 万 m³となった。

輸入合板の8月度入荷量は 16.3 万 m³（前月比 108.7%、前年同月比 71.4%）となっ

合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会 猪爪 清和

た。国別入荷量は、マレーシアが 5.0 万 m³、インドネシアが 4.7 万 m³、中国が 4.1 万 m³となっている。

2023 年入荷量累計では、マレーシアが前年比 56.0%、インドネシアが 62.2%とかなり入荷が少ない状況になっている。

今後の見通し

輸入合板は、現地との契約単価が底を打ち、相場反転を伺う展開となっている。人件費をはじめとする諸々のコストがコロナ禍前と比べて格段に上昇しており、生産コスト的にも現地価格はこれ以上下げることができない状況である。これに加えて、為替が円安であることもあり、輸入合板は値上げを伺う展開である。また、今後、産地であるインドネシア・マレーシアが雨季入りすることから、原料となる南洋材原木の供給は限られ、原木相場も強含みで推移すると考えられる。

国内合板は、減産により需給のバランスがとれて在庫量は適正量であるため、価格が維持されている。合板メーカーは昨年 10 月頃から生産調整をしており、2023 年 1 月から 5 月までの生産量は 20 万 m³を割る結果となった。今も減産態勢は続いているが、6 月以降は出荷・生産ともに 20 万 m³を超えており、今後この水準で推移するとみられ、先安観は薄れてくると思われる。

ご存知ですか？

メールマガジンでお届けしている最新情報

例えば、日合商解説は、国が新たに施行した施策・法律をわかりやすく解説します。

◆日合商解説（vol.77）では、国土交通省の概算要求から住宅局として提出されている重点施策について、一部抜粋して解説。これまでの施策からの拡充が主だった施策ではあるものの、連携力が強化されてきています。一つひとつの施策を把握するだけでなく、ストーリーとして全体を見渡していくことが大事になってきています。

- (1) 誰もが安心して暮らせる多様な住まいの確保
- (2) バリアフリー環境整備促進事業
- (3) ライフサイクルカーボンの算出・評価への重点支援
- (4) 住宅エコリフォーム推進事業、住宅・建築物省エネ改修推進事業
- (5) 住宅局まとめ

◆日合商解説（vol.78）では、vol.77 にひきつづき、国土交通省の概算要求から国土政策局として提出されている重点施策について一部抜粋して解説。国土政策局は様々な調査・検討を行っており、住生活産業にも密接に関わっています。住宅局が住宅・建築物の基準とすると、国土政策局はまちづくりに繋がる内容が多くあります。

- (1) 「新時代に地域力をつなぐ国土」の形成に向けた調査
- (2) 産業構造転換による地域の持続可能性の向上に向けた調査
- (3) 新しい生活様式に沿った二地域居住の推進調査
- (4) 防災・減災への機動的な対応



心地よさを、ずっと。



SMB建材株式会社

SMB Kenzai Co.,Ltd.

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー

TEL : (03)5573-5101 FAX : (03)5573-5109

地球温暖化改善に貢献 環境対応製品

壁武者

JIS 規格：構造用パーティクルボード JIS A 5908

- ① 耐震強度
- ② 高性能
- ③ 安定供給
- ④ 廃木材処理
- ⑤ 人手不足
- ⑥ 高コスト!
- ⑦ SDGs



戸建住宅建築現場の救世主！
その名は壁武者!!



リサイクルで地球環境の未来を創る
東京ボード工業株式会社

廃木材処理に関するお問合せ

製品に関するお問合せ

〈関東エリア〉
RC部
〒136-0082
東京都江東区新木場 2 丁目 11 番 1 号
TEL:03-3522-4139 FAX : 03-3522-4137

関東営業部
〒136-0082
東京都江東区新木場 2 丁目 11 番 1 号
TEL:03-3522-4140 FAX : 03-3522-4137

〈関西エリア〉
TB関西物流株式会社
〒639-1037
奈良県大和郡山田町北町 1257-6
TEL : 0743-85-7373 FAX : 0743-85-7374

関西営業部
〒639-1037
奈良県大和郡山田町北町 1257-6
TEL : 0743-85-7373 FAX : 0743-85-7374



セイホクグループは
年間700万m³の国産材を活用(HWP)し
合板の炭素貯蔵力で地球の未来を笑顔にします

器! 700!

セイホク株式会社	東京都文京区本郷1-25-5	TEL:03(3816)1031	FAX:03(3814)8299
宮城県石巻市重吉町1-7	TEL:0225(22)6511	FAX:0225(95)5867	
宮城県石巻市重吉町1-7	TEL:0225(22)6511	FAX:0225(95)5867	
秋田県秋田市川尻町字大川反232	TEL:018(823)8511	FAX:018(862)1513	
秋田県秋田市向浜1-8-2	TEL:018(823)7265	FAX:018(864)8397	
岩手県宮古市磯鶏2-3-1	TEL:0193(62)3333	FAX:0193(63)3664	
岩手県宮古市刈屋13-11-2	TEL:0193(72)2255	FAX:0193(72)3107	
岩手県北上市和賀町後藤2-112-1	TEL:0197(73)5500	FAX:0197(73)5505	
森の合板協同組合	TEL:0573(79)5120	FAX:0573(79)5121	
松江エヌエル工業株式会社	TEL:0852(76)3730	FAX:0852(76)3900	
新栄合板工業株式会社	TEL:0966(63)2141	FAX:0966(63)2145	
ファミリーボード株式会社	TEL:03(3816)3366	FAX:03(3816)3699	
アイプライ株式会社	TEL:018(823)0511	FAX:018(863)8452	



<https://www.seihoku.gr.jp/>

<https://www.aplywood.co.jp/>

2023 年 11 月 2 日 (木)

令和 5 年度『合板の日』記念式典を開催

木材・合板および業界発展に寄与した方々に感謝状

日本合板商業組合は、公益財団法人フェニックス、日本合板工業組合連合会とともに主催者団体として、故浅野吉次郎氏が日本で初めて合板を製造したとされる 11 月 3 日を『合板の日』と制定して今年で 10 年目となる、令和 5 年度『合板の日』記念式典を開催しました。

会場となった木材・合板博物館のある新木場タワー 1 階大会議場には林野庁並びに東京都からも来賓としてご臨席頂き、木材・合板関連企業および関連団体の役員等総勢で 229 名の参加にて開催されました。

式典では、木材・合板および業界発展に寄与した方に贈られる、『林野庁長官感謝状』が公益財団法人日本合板検査会に贈呈されました。また、記念講演では国立研究開発法人森林研究・整備機構、森林総合研究所研究ディレクター・浅沢龍也様から「超厚合板―実用化に向けた 7 つのキーワード」と題してご講演をいただき、その後会場を移して開催された懇親会では、主催者を代表して、日合商足立建一郎理事長が開会のご挨拶を述べました。



日合商支部で 10 月・11 月に開催した懇親ゴルフ会

2023 年 10 月 14 日 (土)

中国支部 (第二回)

賀茂カントリークラブにて 18 名参加

残暑の中ではありませんでしたが、好天に恵まれ、会員同士が親睦を深めました。



【成績 TOP5】(敬称略)

優勝 田原真一郎
準優勝 本北 匠海
3 位 飯塚 正人
4 位 土井 孝仁
5 位 小谷 一馬

2023 年 11 月 1 日 (水)

第 38 回日合商関東四支部合同

千葉カントリークラブ野田コースにて 61 名参加

爽やかな秋空の下、東京支部・北関東支部・東関東支部・神奈川支部合同で会員同士が親睦を深めました。

【成績 TOP5】(敬称略)

優勝 宮田 浩史
準優勝 石上幸太郎
3 位 坂田 仁
4 位 齋藤 一男
5 位 高橋 秀和



小川東京支部長挨拶



コンペ優勝者の
(株)イクタ
代表取締役社長
宮田浩史氏による
スピーチ

日合商ホームページトピックスより抜粋

日合商 HP
トピックスへは
こちらから



2023.10.17

林野庁「モクレボ〜林産物に関するマンスリーレポート」10 月号の公表
林野庁ホームページにて「モクレボ〜林産物に関するマンスリーレポート〜」
10 月号では「森林×脱炭素チャレンジ 2023」表彰式の様子や、2022 年の木材需給表について特集しています。

2023 年度 定期 日合商 WEB セミナー

講 師 清水英雄事務所(株) 代表取締役 清水大悟氏

第 3 回 11 月 21 日 (火)

テーマ『国策まるごと解説！押さえておきたい重要ポイント』

第 4 回 2024 年 2 月 15 日 (木) 開催予定

テーマ『2024 年の住生活産業界の展望』



アーカイブ視聴は
こちらから

2023 年度 特別 日合商 WEB セミナー

第 1 回 12 月 14 日 (木) 開催予定

講 師 (株)吉田労務コンサルティング

特定社会保険労務士 大西綾子氏

テーマ『有効な人材確保策、定着率向上の方策』
〜成功事例、公的支援策等〜



このセミナーのアーカイブ視聴は 12 月 16 日 (土曜) まで
となっています。ぜひライブ配信をお申し込みください！

お申し込みは
こちらから

2023 年 10 月 25 日
現 在

【グリーン購入法】に基づき
事業者新認定・期限更新した 2 社

東関東 -0041 ② 兼三木材(株) 代表取締役 阿部 克美
東京・長野 -0118 ⑤ (株)中山住宅資材 代表取締役 中山 都

日合商支部 2024 年 新年会スケジュール

関 西	新年合同賀詞交歓会	1 月 5 日 (金)	リーガロイヤルホテル大阪
中部日本	賀詞交歓会	1 月 6 日 (土)	ホテルメルバルク名古屋
東 京	都合連 6 団体合同新年会	1 月 9 日 (火)	明治記念館
北 海 道	賀詞交歓会	1 月 10 日 (水)	京王プラザホテル札幌
九 州	新年交礼会	1 月 16 日 (火)	ANA クラウンプラザホテル福岡
静岡地区	新年会	1 月 16 日 (火)	ホテルグランヒルズ静岡
北 陸	新年会	1 月 17 日 (水)	ホテル日航金沢
東 関 東	賀詞交歓会	1 月 18 日 (木)	東天紅上野本店
東 北	新年会	1 月 24 日 (水)	ホテルメトロポリタン仙台
四 国	新年会	2 月 8 日 (木)	ホテルマイステイズ松山

世界初
廃せっこうボード 100%
製造時の
カーボンニュートラル
チヨダサーキュラーせっこうボード



CHIYODA
CIRCULAR BOARD



CHIYODA
VISION
ZERO



チヨダウーテ

NODA

ラスティック フェイス

全 6 樹種

Rustic Face

Rich J-Base VC

J-Base VC

天然木フロア

リッチ・J ベース VC (1 本溝タイプ)

J ベース VC (2 本溝タイプ)

VC
ウイルケア
Virus
殺ウイルス対応商品

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工

New

Kusu

[クス]

空間をやわらかな明るさで満たす、
使い込むほどに際立つ光沢。

株式会社ノダ 本社 〒111-8533 東京都台東区浅草橋5-13-6 (三朋ビル) ☎ 0120-51-4066 (お客様相談室)